

2019 年度 CoSTEP メディアデザイン実習

ワークショップ「宇宙はスペースがたりない～人工衛星をおびやかすデブリ～」を開催

【概要】

この度、北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）のメディアデザイン実習班は、No Maps 実行委員会との合同企画として宇宙利用とスペースデブリをテーマにしたワークショップ（体験型講座）を開催します。

宇宙の話題に興味がある方、これまであまり考えたことのなかった方、VR が気になった方、どなたでも大歓迎です。ぜひ一緒に宇宙について考えてみませんか？

【趣旨】

人類初の月面着陸から 50 年。通信や放送、地図アプリ、天気予報など宇宙を利用したサービスは私たちの生活に身近なものとなりました。このようなサービスは多くの人工衛星やロケットに支えられています。今では技術の蓄積やコストの低下によって企業や大学でも打ち上げが可能となり、ますます多くの人工衛星が使用されるようになっていきます。

一方で役割を終えた人工衛星やロケットの破片などが軌道上に取り残されると、それは宇宙ゴミ「スペースデブリ」になります。デブリは大小様々あり、1cm 以上のものは 50 万個以上と推定されています。デブリは秒速 7km 以上の超高速で飛んでいるため、人工衛星と衝突した場合その人工衛星は破壊されてしまいます。すでにデブリによって人工衛星が破壊される事故も起きており、今後の宇宙利用の大きな弊害になると考えられています。

本ワークショップでは、バーチャルリアリティ（VR）や高さ約 3m、幅約 9m の大型モニターの映像を通して人工衛星の世界に触れてもらい、スペースデブリの問題を探っていきます。会場には人工衛星からの電波を受信する小型地上局も展示します。

【日 程】 2019年10月20日(日) 13:00~15:00
* イベントと併設して人工衛星からの電波をデジタル映像と音に変換したメディアアートの展示も実施。

展示は10月19日(土)~20日(日) 10:00~19:00(最終日は17:00まで)。

【場 所】 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北2条広場西側
(札幌市中央区, 地下鉄南北線さっぽろ駅から徒歩10分)

【主 催】 北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)メディアデザイン実習, No Maps 実行委員会

【協 力】 株式会社ワークスペース

【対 象】 中学生・高校生(小学2年生以上も受付可能)

【募集人数】 40人(無料, 日本語で開催)

【申込方法】 右のQRコードもしくは以下のURLからお申し込みください。
(申込締切: 10月15日(火))



<https://no-maps.jp/program/exhibition/costep2019>

応募フォーム以外のお電話やFAXでの申し込みは受け付けません。また, 定員以上の応募があった場合は抽選となります。抽選結果は後日メールにてお知らせします。

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP) 担当 村井 貴(むらいたかし)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール costepmd2019@gmail.com

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2040/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp